

## ◆ 参加費のご案内

日 時

2026年1月31日(土) 10:30-17:00

会 場

国立オリンピック記念青少年総合センター  
センター棟310

定 員

120名

対 象

テーマに興味のある方

参 加 費

会員・一般で価格が異なります。午前・午後のみは同価格です。

2日間で 11,000円 会員 / 12,000円 一般

- ・31日 6,500円 会員 / 7,000円 一般 (午前3,000円、午後4,000円)
- ・1日 4,500円 会員 / 5,000円 一般 (午前3,000円)

お申込み

協会 Stores

<https://jaswece.stores.jp>



申込期間

12/27(土)～1/25(日)20:00

## ◆ 会場のご案内



代々木  
オリンピックセンター  
東京都渋谷区代々木神園町3-1  
<https://nyc.niye.go.jp/>

## 宿泊の希望について

オリンピックセンターにて1/31(金)、2/1(土)それぞれ若干名の方の宿泊が可能です。  
D棟1泊5,000円ご希望の方は理事牧野奈巳<[kenji-fukuoka@ac.auone-net.jp](mailto:kenji-fukuoka@ac.auone-net.jp)>までご連絡ください。  
ご返信は1/5(月)以降となります。

日本シュタイナー幼児教育協会

## 定例研修会

シュタイナー幼児教育 100周年

シュタイナー幼児教育の始まりから未来へ

2026年1月31日(土) 10:30-17:00

2026年2月1日(日) 9:30-16:00



寒さが一段と厳しくなってまいりました。

さて、皆様ご承知の通り、2026年はシュタイナー幼児教育がドイツのシュツットガルトで誕生してから100周年という記念すべき節目の年を迎えます。

当協会におきましても、この節目を祝い未来へ繋ぐため、

現在、実行委員を募り企画会議を重ねております。

この度、その企画の第一弾として、恒例の定例研修会を下記の通り開催する運びとなりました。

今回の研修会では、「シュタイナー幼児教育の始まりから未来へ」をテーマに据え、2日間にわたるプログラムをご用意いたしました。

### 【1日目】～シュタイナー幼児教育の草創期～

困難な時代の中でドイツでいかにして誕生し、シュタイナーが目指した教育の真髄がいかに確立され、今日の礎となったかを振り返ります。

### 【2日目】～日本における展開と未来のシュタイナー園を考える～

どのようにして日本にシュタイナー幼児教育の光が灯り、時代の変化と共にいかに広がったのか。  
多様な形態で実践されている園の方々と話をしながら、これからのシュタイナー園のあり方について皆さんと一緒に考えていくたいと思います。

100年前にドイツに灯った小さな光。

この尊い教育が、次の100年、そしてその先の時代を生きる子どもたちにとっても希望となりますように。

ご多忙の折とは存じますが、日本のシュタイナー幼児教育の未来を共につくる機会として、皆様お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

## 講座について

シュタイナー幼稚園は、まもなく誕生から 100 年という節目の年を迎えます。

この記念すべき年にあたり、私たちは改めて「シュタイナー幼稚園はいかにして生み出されてきたのか」という原点に目を向けます。特に草創期を支えたバイオニアたちに注目し、「シュタイナー幼児教育史における草創期の保育実践とその担い手たち—エリザベス・グルネリウス、クララ・ハッターマンの研究を通して—」というテーマのもと、その歩みを探ります。

草創期に関する資料を読み解きながら、グルネリウスやハッターマンがどのようにシュタイナー幼児教育に取り組んだのか、また、第二次世界大戦という困難な時代を乗り越えつつ教育を世界へ広げ、今日に続く組織を形作っていった過程を振り返ります。こうした歴史の軌跡を辿ることで、シュタイナー幼稚園の原点により深く迫ります。

クララ・ハッターマン（1909 年～2003 年）は、シュツットガルトに創設されたヴァルドルフ幼稚園の教師であったエリザベス・グルネリウス（1895 年～1989 年）の元で共に保育に携わりました。後にグルネリウスはアメリカに渡りヴァルドルフ幼稚園を設立し、ハッターマンは北ドイツのハノーバーに第 2 のヴァルドルフ幼稚園を設立しました。

ハッターマンは更に幼児教育のための養成講座を開設しました。州の認定を受けたドイツで初めての乳幼児教育専門の養成校となったのです。養成校のもう一つの大変な課題は、保育士、幼児教育者の社会的地位向上でした。それは、乳幼児教育の意義と重要性を新たに見いだす運動でもあったのです。

ヴァルドルフ幼稚園の数は増え続け、幼稚園で働く教師たちの出会いと学びのために連盟を立ち上げました。それは国際連盟となり、毎年世界中のヴァルドルフ幼稚園の先生や関係者たちが集まる場となりました。ハッターマンは、晩年はヴァルドルフ教育のための手遊び、リズム遊び、歌をヴィルマ エラジックと共にたくさん作りました。

ハッターマンの教育的、文化的、社会的貢献は大きなものでしたが、ハッターマンは常に控えめで、自らは余り表には出ず、人の為に働いていました。ハッターマンは、「私たちは仕事の為に精神的準備を整えることが大事なのです」とよく語っていました。グルネリウスとハッターマンの仕事をその時代的背景から振り返り、新たに理解し、今の、そしてこれからの中のシュタイナー幼児教育に役立つことを願っております。

## 講師の紹介

### 近藤千草

#### プロフィール

目白大学人間学部子ども学科教授。2010 年より日本シュタイナー幼児教育協会会員。青山学院大学大学院文学研究科教育学専攻修了、教育学修士。川村学園女子大学教育学部幼児教育学科教授を経て、2022 年より目白大学人間学部子ども学科に着任。2025 年からは同大学大学院生涯福祉研究科も担当している。学部では「保育学入門」「保育内容総論」など、保育・幼児教育に関する科目を担当し、大学院では「福祉臨床論」を担当。研究テーマはシュタイナー幼児教育であり、「クララ・ハッターマンのバイオグラフィーに関する考察—資料整理を中心に—」(2022)、「シュタイナー保育実践者による保育の捉えに関する考察」(2021)などの研究を通して、シュタイナー幼児教育の歴史、保育内容、カリキュラムの意義解明に取り組んでいる。

### 鳴村慶子

#### プロフィール

東京家政大学児童学科卒業。ハノーバー大学社会学科に進み、シュタイナー思想とシュタイナー教育との出会いを機にハノーバー・シュタイナー幼稚園教諭養成で学ぶ。修了後数カ所のシュタイナー幼稚園での実習を重ねる。帰国後、東京都国立市を中心に人智学（アントロポゾフィー）運動として教育活動をしていった方々と関わり、幼児教育実践を始める。後にシュタイナーキンダーガルテン星の子となり 教師として 15 年勤める。シュタイナー幼児教育協会元理事。現在は医療機関に勤め、来院の赤ちゃんからお年寄り迄のお世話と事務を担当。ハッターマンには 20 年もの間教えを受ける。

# スケジュール

## 1月31日（土）

10:00	受付開始 <b>販売可能</b>	
10:30	ことば・ライナー（吉良創） <u>シュタイナー幼児教育史における草創期の保育実践とその担い手たち</u> —エリザベス・グルネリウスとクララ・ハッターマン—	近藤千草
12:15	休憩 <b>販売可能</b>	
13:15	うた（後藤寛子） <u>クララ・ハッターマンについて</u> ～ハッターマンから学んだこと、受け継いだ精神～	嶋村慶子
14:00	休憩	
14:15	クララ・ハッターマンの幼稚園 ～シュタイナーの言葉をどのように具現化していくか～	嶋村慶子
15:00	休憩	
15:15	ふりかえりのシェアタイム ～参加者同士の交流もできるように～	16:15まで
17:00	終了予定 <b>販売可能</b>	

## 2月1日（日）

09:00	受付開始 <b>販売可能</b>	
09:30	ことば・ライナー（吉良創） <u>日本のシュタイナー園の成り立ちと今</u>	松浦園
10:30	休憩	
10:45	パネルディスカッション 「日本のシュタイナー園の今～4つの異なる形態の園から～」	
12:30	休憩 <b>販売可能</b>	
13:30	うた（後藤寛子） <u>現状における課題と未来に向けてグループワーク</u>	
14:45	休憩	
15:00	各グループのまとめ発表 「今定例会のまとめと次回教育者大会に向けて」	
16:00	終了予定	

## 定例研修会での販売お知らせ

2日間の定例研修会開催中、  
希望される会員団体は販売をすることができます。

### ★販売申し込み期間

2026年1月10日（土）～1月20日（火）

※本パンフレットが届いてからお決めください。

### ★テーブル1台

¥1,000（1団体2テーブルまで¥2,000）

★販売日数に関わらず、同じ金額になります。

★なまもの、手作りパン、手作りクッキーなどの食べ物は販売できません。

### ★販売時間

1日目一朝は準備しながらでも販売できますが、講演開始までと昼休憩、午後講演終了30分後まで。

2日目一講演開始までの朝、昼休憩まで。

詳しくは表面のスケジュールで販売可となっている時間帯を確認ください。

★使用料は、当日集めさせていただき、領収書をお渡します。

★お申込みした方への確認メールをさせていただきます。締め切り後に、搬入時間などの詳細をお知らせします。

★申込方法：定例研修会の申込とは別に下記アドレスまで直接お申し込みください。

申込先：担当 [teatime583@gmail.com](mailto:teatime583@gmail.com) 山田

★会員団体名と連絡のとれる方のお名前、テーブルの台数、領収書の宛先名をお知らせください。

来年はシュタイナー幼児教育100周年になります。

皆様と共に盛り上げていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願ひいたします。